

学校だより

かしわの葉

美幌町立美幌小学校 第8号

【学校教育目標】

できること いっぱい みつけよう
自立する柏っ子

◇やりとおす ◇かんがえる
◇つたえあい ◇ふれあい
◇みとめあい

令和8年 9月30日 発行
文責 校長 水野 利幸

〒092-0062 網走郡美幌町西2条北4丁目1番地 TEL 0152-73-2019 受付時間 7:40～17:00(通常時)

令和8年度学校評価アンケート（1回目）の結果から

7月下旬に、本校の児童・保護者・教職員を対象に行った今年度第1回目の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回のアンケートは、今年度の重点教育目標である『つなごう 美幌小学校』における「学びをつなごう」「心をつなごう」「地域とつなごう」の重点項目について、これまでの状況を捉えられるよう実施しました。児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートを並べ、関連項目ごとに、それぞれの捉え方の違いが分かるように整理しています。また児童アンケートには、経営理念のキーワードである『ウェルビーイング』の観点からの質問項目を加え傾向が見えるようにしています。

集計の結果、児童アンケートでは、「学校に行くのが楽しい」「体育の時間や休み時間などで、たくさん体を動かしている」「やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている」の項目で評価が高く、子どもたちが友達と仲よくしながら、意欲的に学校生活を過ごしている様子が読み取れました。また、「学習のきまり（学習規律）を守って学習に取り組んでいる」や「学校の授業はわかりやすい」も高めとなったことから、今後も指導法を工夫・改善していきたいと考えます。保護者アンケートでは、「お子様は、楽しく学校に通っている」「お子様は、自分のよいところを知っている」「お子様は、やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている」等の項目でよい評価でした。引き続き子どもたちが楽しく学校に通えるよう、教育活動を充実させてまいります。

児童アンケート、保護者アンケートの両方から見られる課題は、「読書習慣の定着」です。子どもたちが主体的に学習や読書に取り組めるよう、よい取組は継続し、さらに情報発信に努めてまいります。

保護者の皆様からの回答数は68件でした。なお、記述回答でいただいたご意見は、教職員・学校運営協議会・PTA役員会で共有し、今後の指導計画や学校運営の在り方を見直す際の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

《アンケート結果の見方》

・帯グラフ……対象の回答者全体を100とした時、左から

「している（思う）」など、肯定的回答

「どちらかといえば、している（思う）」など、やや肯定的回答

「どちらかといえば、していない（思わない）」など、やや否定的回答

「していない（思わない）」など、否定的回答

「わからない」

の順に並べ、その割合を表しています。

肯定的評価、やや肯定的評価のみ数値を表記。（単位％）

・肯定的・やや肯定的な回答が80％以上の質問項目は、◎がついています。

・肯定的・やや肯定的な回答が50％以下の質問項目は、△がついています。

・参考として、結果から窺える考察を加えています。

児童・保護者・教職員アンケート 結果比較

	重点項目	児童	保護者	教職員
○学びをつなぐ	学習規律・家庭学習習慣の定着等の学びの基盤づくり	◎「学習のきまり」(学習規律)を守って学習に取り組んでいる ◎分で目標を決めて家庭学習(宿題・自主学習・読書)に取り組んでいる	・お子様は、家庭学習の習慣が身についている	◎「学習のきまり」(学習規律)の定着を図っている ・家庭での学習習慣の定着を図っている
	わかる・できるが実感できる授業の習慣化とICTの活用推進	◎学校の授業はわかりやすい ◎友達と話し合う活動(タブレットを使うことも含む)を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりできる ※中学校区共通項目	・お子様は、「学校の授業は分かりやすい」と言っている	・ICTを効果的に活用できる指導や授業展開を工夫している
	主体的・対話的で深い学びを意識した授業	◎自分の考えを文章で書くことができる ※中学校区共通項目 ・理由をはっきりさせながら、文章で説明したり、表現したりすることができるようになってきている ※中学校区共通項目		△子どもは、自分の考えを文章で書くことができる △子どもは、根拠を示しながら文章等で説明・表現する力がついてきている。
	体育授業の工夫改善	◎体育の時間や休み時間などで、たくさん体を動かしている	◎お子様は、進んで運動や外遊びをしている	◎運動量のある体育授業や特別活動を行うなど、体力向上の取組をしている
	読書活動、学校図書館の充実	・学校や家などで毎日読書している	△お子様は、家庭で読書に親しむ習慣が身に付いている	・学校図書館の積極的な活用を働きかけるなど、読書に対する関心意欲を高めている

		- 学習規律や家庭学習への取組は向上しています。今後も、家庭学習の取組が学校の授業と連動し、子ども自身が家庭学習に必要感や有用性を感じることができるよう引き続き取組を進めていきます - 子どもたちの実態を的確にとらえ、日常的な教材研究や校内研修を中心とした授業改善に取り組んだ結果、「わかりやすい」と答えた子どもが80%を超えた結果になったと考えられます。今後も継続していきます。 - 自分の考えを書いたり、理由をはっきりさせて表現したりすることに好感を抱いている子どもが80%ほどいる一方、教員は十分ではないと考えている割合が多くなりました。今後も授業の中を書く活動を位置付けていくことが大切になると考えます。 - 図書館司書や「がらがらどん」等の協力や尽力もあり学校での読書量はある程度確保されているが、家庭での読書量が少ないようです。今後も読書習慣の定着を図るため、学校での読書量を最低限確保しつつ、ご家庭と連携して推進していくことが大切だと考えます。		
〇心をつなぐ	あいさつや言葉づかいなど、基本的生活習慣の定着	・だれにでも元気にあいさつをしている	・お子様は、誰にでも元気にあいさつをすることができている	◎率先して挨拶ができるように指導している
	児童会活動や行事など、一人一人が活躍できる場面の設定(自己肯定感の育成)	◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う		◎長所や努力している姿を積極的に探し、本人や周りの人に伝えている
	道徳教育・人権教育の推進	◎やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている	◎お子様は、やさしい言葉づかいと行動を心がけて、友達を大切にしている	◎友達を大切にし、やさしい言動で接するように指導している
	生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実(いじめ・不登校の早期発見)	◎自分の悩みや心配事などを、先生が聞いてくれる	・学校は、子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している	・◎子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している
		- 児童アンケート「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「先生は自分の悩みや心配事を聞いてくれる」の数値がそれぞれ、おおよそ80%となっていることから、教員が児童と向き合い小さな変化を見逃さず適切に対応している成果が表れています。日常的に子どもたちに目を配った担任による学級経営に加え、担外の先生方も含め学校全体で子どもたちを見守り育てていきます。 - 挨拶については学校内より、世情により学校外(家庭)での定着度が低くなっているとも考えられます。		
〇地域とつながる	地域人材や地域力の活用と地域学習の推進			・地域の「ひと・もの・こと」に関わる体験活動の充実を図っている

	9年間を見通した 小中連携教育の 推進			△義務教育9年間を見通し、幼稚園・保育園・中学校との情報交流などを通して連携した取組をしている
	家庭や地域と連携		◎学校は、子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している	◎子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している
	・美幌小学校は北中学校区に属し、小中の連携の一つとして本校の公開研究会に北中学校の教職員を多数招いたり、北中学校の公開研究会に多数参加したりする方向で進めていきます。 ・幼稚園や保育園との連携を活発にすることが今後の課題です。			
○その他	* ウェルビーイングの向上	◎学校(に行くの)は楽しいと思う	◎お子様は、楽しく学校に通っている	
		◎将来の夢や目標を持っている	◎お子様は、自分のよいところを知っている	
			・お子様は、将来の夢や目標を持っている	
	・学校は楽しいが80%を超えており、着実に安心感が持たれるようになってきていると考えます。 ・「自分にはよいところがある」(自己肯定感)の数値は、昨年度より大きく向上しました。今後も児童のよいところを認め、児童同士も認め合えるクラスづくりを進めていくことが大切であると考えています。			

※保護者アンケート記述欄より

スポーツデーに関して、いくつかご意見をいただいております。本校では、「運動の楽しさを味わう」「自己が伸長する喜びを実感する」「チームワークの大切さや協力することの良さを学ぶ」ことをねらいとし、運動会という名称ではなく「スポーツデー」として実施しています。近年、練習に相当な負担を感じたり、勝敗にこだわりが強すぎたりして、学校行事への参加に抵抗感のあるお子さんも少なからずいらっしゃいます。それらも踏まえ、練習や準備等に過度に時間をかけるのではなく、日常の体育学習の延長・発表の場として児童が取り組める形にすることを念頭に、種目を精選し、ねらいの達成をめざしています。なお、国（中央教育審議会）においても、学校行事の負担軽減のため、それぞれの行事の教育的価値を検討し、教育上必要とされるものに精選することが必要との提言がされています。ねらいの達成を第一に、どの子にとっても「ウェルビーイング」な活動となるよう必要な改善を図ってまいります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。